

# 3歳児 ○○組 日案「楽しんで鬼のお面を作ろう」

・・・V

ね ら い	期	◎友達と関わる喜びを味わいながら、一人一人の生活が充実する時期	生活指導	・保育者や友達に挨拶をする。 ・生活のリズムを取り戻す。(早寝、早起き) ・風邪やインフルエンザの予防をする。(手洗い、うがい) ・暖房器具の周りでの安全に気を付ける。
	月	・園生活のリズムを取り戻し、友達との関わりを楽しむ。		
	週	・友達や保育者と一緒に簡単なルールのある遊びやごっこ遊びなど楽しむ。 ・自分のことは自分でやろうとする意欲をもつ。		
	内容	・友達や保育者と好きな遊びを見つけ、一緒に遊ぶことを喜ぶ。 ・生活の中で必要なことに自分から取り組んだり、気付いたことを友達に伝えたりする。		
環境の構成		・ブロック、パズル、積み木などを遊びやすいように置き、保育室で落ち着いて遊べるようにする。 ・天気のよい日は戸外で遊べるよう、子供たちがよく遊ぶものを出しておく。(スクーター、砂場道具、サッカーゴール等) また、ルールのある遊びを楽しめるよう保育者が遊びにかかわる。 ・ごっこ的な遊びが楽しめるよう、雰囲気づくりや場の構成を工夫する。 ・友達と気持ちを伝え合いながら遊べるように、子供たちの遊びを見守りながら必要に応じた援助をしていく。		
主な行事		なし	本日のねらい (子供)	① 楽しんで鬼のお面づくりを行う。 ② 自由遊びの時間に自分のしたい遊びを見付け、友達と一緒に楽しむ。
日時		子供の活動 及び 予想される子供の姿	環境の構成 保育者の援助	
8：30	○登園する・朝の準備	○クラス活動 (鬼のお面づくり)	↓保育室	トイレ
9：00	○自ら取り組む遊びの時間	・鬼についてどれくらい知っているか子供たちに質問する。		
9：50	○片付け・排泄	・子供たちの反応にうなずいたり言葉を返したりし、鬼の特徴を捉えられるようにする。(特にこの)		
10：10	○のびのびタイム (全園児) ・音楽に合わせて、マラソンを楽しむ。 ・縄のダンス (ミッキーマウスマーチ) を楽しむ。	・豆まきに関する絵本の読み聞かせ (おにはうち!) を子供たちに楽しく行う。		
10：45	○朝の集まり (挨拶・季節の歌・出欠調べ)	・絵本の内容について振り返り、豆まきに必要なものを提案し、鬼のお面を作ることを促す。		
10：55	○クラス活動 (鬼のお面づくり) ・保育者の話を聞く。 →質問に答えようとしたり考えたりする子供の姿が見られる。 ・絵本の読み聞かせを楽しむ。 ・自分の席に椅子を持って行き座る。 ・鬼のお面の土台を取る。 ・目や口などの好きな形のパーツを選ぶ。 ・並べいろいろな鬼の顔を楽しむ。 ・クレパスで目玉やつの模様を描く。 ・パーツをのりで貼る。 →進んで取り組む子供、取り組むことが難しい子供など、様々な姿が見られる。 ・終わったら、保育者にお面を渡し、お面を飾ることで作ったことを振り返り、喜びを共有する。	・机を並べ、椅子を自分の場所に置くことを促す。 ・1人ずつ名前を呼んで、鬼のお面の土台選びを促す。(いろいろな色を準備しておき、選択ができるようにする) ・いろいろな大きさや色の鬼のお面の一つを箱に分け、好きなパーツを選んで土台に置くことを促す。 ・子供たちの様子を見て、言葉かけを行う。 ・クレパスで、目玉やつの模様を描くことを促す。 ・子供たちの様子を見ながら、クレパスを片付けてのりを持つてくることを促し、のりの使い方を改めて確認する。(人差し指にほんの少しつけることやパーツの裏にのりをつけることなど) ・お面作りの様子を見て、褒めたり援助したりする。 ・終わったら、お面を持ってくることを促し、飾ってみんなで楽しめるようにする。 →帰りの会 (クラスのひととき) でお面を紹介することで、作った喜びをみんなで共有できるようにする。	↓鬼のお面	ま ま ご と  子 子 子 子 子 保 シール台 ストーブ テレビ  ブロ ック 積 み 木 メタ カ 折 り紙
11：20	○給食の準備			
11：45	○給食を食べる			
12：30	○自ら取り組む遊びの時間			
13：45	○片付け・排泄・降園準備			
14：15	○クラスのひととき ・ホワイトボードを見ながら明日の予定を知り、期待をもつ。 ・さようならの挨拶をする。			
14：30				
評価	① → ( )	省略		
	② → ( )			